



平成30年5月期 決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社ケイブ

上場取引所 東

コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 高野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・CFO (氏名) 菊地 徹 TEL 03-6820-8176

定時株主総会開催予定日 平成30年8月28日 有価証券報告書提出予定日 平成30年8月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期の業績(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期	2,366	16.1	69		88		70	
29年5月期	2,820	20.3	220		229		391	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
30年5月期	25.32		8.4	6.8	2.9
29年5月期	152.65		63.3	21.6	7.8

(参考) 持分法投資損益 30年5月期 百万円 29年5月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
30年5月期	1,559	1,060	67.9	345.47
29年5月期	1,048	620	59.1	226.46

(参考) 自己資本 30年5月期 1,058百万円 29年5月期 619百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年5月期	84	356	506	602
29年5月期	133	189	348	368

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
29年5月期		0.00		0.00	0.00			
30年5月期		0.00		0.00	0.00			
31年5月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 平成31年5月期の業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

平成31年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料3ページ「1. 経営成績の概況(4)今後の見通し」に記載しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期	3,110,700 株	29年5月期	2,782,600 株
期末自己株式数	30年5月期	47,035 株	29年5月期	47,000 株
期中平均株式数	30年5月期	2,787,414 株	29年5月期	2,563,143 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成31年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、政府の東日本大震災からの復興・再生及び熊本地震からの復旧・復興に取り組みとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化を同時に実現する方針のもと、企業収益が好調に推移し、景気は緩やかに回復しております。先行きについても好調な企業収益を雇用・所得環境につなげ、経済全体の好循環の拡大に期待されます。ただし、新興国等の経済の先行き、制作に関する不確実性や、アメリカの政策の動向及び影響等に留意する必要があります。

このような環境の中、当社の属するオンラインエンターテインメント業界におきましては、平成29年における国内ゲームアプリの市場規模は、前年比9.2%増の1兆580億円となりました。海外においては中国・韓国が1兆9,644億円、北米が1兆22億円、欧州が5,389億円となっており、アジアが世界のゲームアプリ市場の市場の約6割を占めております（出典：ファミ通ゲーム白書2018）。

当社におきましては、当社の主力であるスマートフォンゲーム『ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい～』の「美少女シューティング」への原点回帰を掲げ、特にシューティング要素の強化に注力してまいりました。その結果、DAU（1日当たりのアクティブユーザー）の回復や課金率の増加など、既存ユーザーの呼び戻しによる一定の効果を確認できております。今後も社会的に関心の高まっている「eスポーツ」を意識しつつ、シューティングゲームへの「原点回帰」を進める方針です。平成30年4月には『ゴシックは魔法乙女』の台湾版『發射吧!少女!』がガンホー・ガマニア社から台湾・香港・マカオにて配信を開始し、シューティングゲームの世界標準を目指してまいります。

平成29年11月にリリースした海外ゲーム輸入パブリッシングタイトル『ロード・オブ・ダンジョン』につきましては、リリース直後には想定を上回る売上の伸びがありましたが、海外で開発されたゲームであり、日本のユーザーに合わせた運営体制を取れなかったことからユーザーの流出を招きました。現在は運営体制を見直し、日本向けに改良を行いつつプロモーションを強化し、再度の浮上を目指しております。

また、当社は平成30年5月に株式会社フォーサイドと①海外スマートフォンネイティブゲームの日本配信事業強化、②ネットクレーンゲーム事業の新規展開における協業、③eスポーツ向けゲームの開発とイベント及び施設の運営等で協業を進めるべく、資本業務提携契約を締結しました。詳細は平成30年5月10日開示の「資本業務提携契約並びに第三者割当による新株式及び第22回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当事業年度において開発中であった新作ゲーム『三極ジャスティス』は、平成30年6月1日に配信を開始いたしました。現在はユーザーの動向に注視しつつ改善を加えている最中であります。

以上の結果、当事業年度の売上高は2,366百万円（前事業年度比16.1%減）、営業損失69百万円（前事業年度は220百万円の営業損失）、経常損失88百万円（前事業年度は229百万円の経常損失）、当期純損失70百万円（前事業年度は391百万円の当期純損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前事業年度末に比べて511百万円増加し1,559百万円となりました。これは主に、現金及び預金234百万円の増加、売掛金11百万円、未収入金60百万円の減少等により、流動資産が161百万円増加し、ソフトウェア仮勘定377百万円の増加、関係会社株式16百万円の減少等により、固定資産が349百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて70百万円増加し498百万円となりました。これは主に、未払金27百万円、未払費用41百万円等が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて440百万円増加し1,060百万円となりました。これは主に、資本金254百万円、資本剰余金254百万円が増加した一方で、利益剰余金70百万円等が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における単体ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、602百万円（前事業年度末残高368百万円）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、84百万円（前事業年度は133百万円の支出）となりました。これは主に、税引前当期純損失68百万円、事業譲渡益19百万円等が支出要因であった一方で、減価償却費22百万円、新株発行費14百万円、未収入金の減少額60百万円、未払金の増加額22百万円、未払費用の増加額41百万円等が収入要因であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、356百万円（前事業年度は189百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14百万円、無形固定資産の取得による支出377百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、506百万円（前事業年度は348百万円の収入）となりました。これは、株式の発行による収入509百万円等が収入要因であった一方で、株式の発行による支出12百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年5月期	平成27年5月期	平成28年5月期	平成29年5月期	平成30年5月期
自己資本比率	67.7	50.8	57.6	59.1	67.9
時価ベースの自己資本比率	295.9	785.0	477.8	383.0	321.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	96.5	—	254.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	108.9	—	24.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）各指標は、いずれも単体ベースの財務数値により算出しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注4）平成26年5月期、平成27年5月期及び平成29年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

当社の業績は平成30年5月期において『ゴシックは魔法乙女』1タイトルが売上高の70%以上を占めており、『ゴシックは魔法乙女』の動向によって会社業績が大きく左右される状況となっております。この状況を改善するため、平成29年11月に輸入パブリッシングタイトル『ロード・オブ・ダンジョン』、平成30年6月にオリジナルタイトル『三極ジャスティス』をリリースし、平成30年7月にも輸入パブリッシングタイトル第二弾『けもみみメロメロれしび』のリリースを予定しております。このような状況の中、個別タイトルの今後の推移を予測することが難しく、個別の進捗によって業績が大きく変化することから、現時点においては信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難であります。

したがって平成31年5月期の業績予想につきましては、これらの当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務活動は主に日本国内であり、会計基準につきましては、日本基準を採用しております。I F R Sにつきましては、国内の適用動向等を踏まえ、適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当事業年度 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	368,551	602,704
売掛金	19,170	7,840
商品及び製品	5,496	3,979
貯蔵品	157	210
前払費用	17,664	18,027
未収入金	271,784	211,700
その他	893	561
貸倒引当金	△29	—
流動資産合計	683,689	845,025
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,737	56,737
減価償却累計額	△27,913	△31,998
建物(純額)	28,823	24,738
工具、器具及び備品	106,866	103,801
減価償却累計額	△94,677	△86,955
工具、器具及び備品(純額)	12,189	16,846
有形固定資産合計	41,012	41,584
無形固定資産		
商標権	1,705	1,125
ソフトウェア	14,723	8,717
ソフトウェア仮勘定	218,162	595,827
その他	630	630
無形固定資産合計	235,221	606,301
投資その他の資産		
関係会社株式	16,938	—
敷金	55,568	50,836
差入保証金	16,011	15,971
長期未収入金	29,499	29,499
貸倒引当金	△29,499	△29,499
投資その他の資産合計	88,518	66,807
固定資産合計	364,752	714,693
資産合計	1,048,442	1,559,719

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当事業年度 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	204,998	213,998
リース債務	2,545	2,545
未払金	121,642	149,463
未払費用	35,878	77,584
未払法人税等	10,500	14,891
未払消費税等	15,127	8,284
前受金	25,354	20,840
預り金	4,946	6,435
流動負債合計	420,993	494,043
固定負債		
リース債務	7,356	4,810
固定負債合計	7,356	4,810
負債合計	428,349	498,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,206	1,544,983
資本剰余金		
資本準備金	1,233,844	1,488,622
資本剰余金合計	1,233,844	1,488,622
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△1,868,553	△1,939,138
利益剰余金合計	△1,857,683	△1,928,268
自己株式	△46,876	△46,934
株主資本合計	619,491	1,058,402
新株予約権	602	2,462
純資産合計	620,093	1,060,864
負債純資産合計	1,048,442	1,559,719

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)	当事業年度 (自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)
売上高	2,820,785	2,366,739
売上原価	865,361	873,422
売上総利益	1,955,423	1,493,317
販売費及び一般管理費		
回収費	832,123	693,794
広告宣伝費及び販売促進費	797,094	335,324
役員報酬	77,250	77,550
給料及び手当	139,941	132,611
研究開発費	51,271	45,885
地代家賃	33,895	30,592
支払手数料	21,485	18,804
その他	223,356	228,162
販売費及び一般管理費合計	2,176,419	1,562,725
営業損失(△)	△220,995	△69,408
営業外収益		
受取利息	2	6
受取手数料	16	—
前受金消却益	—	926
その他	704	23
営業外収益合計	723	956
営業外費用		
支払利息	3,895	3,340
新株発行費	—	14,974
新株予約権発行費	4,320	1,390
その他	688	272
営業外費用合計	8,904	19,976
経常損失(△)	△229,176	△88,429
特別利益		
事業譲渡益	—	19,655
新株予約権戻入益	163	602
特別利益合計	163	20,257
特別損失		
関係会社整理損	13,061	—
減損損失	146,367	—
固定資産売却損	127	—
固定資産除却損	62	123
特別損失合計	159,618	123
税引前当期純損失(△)	△388,631	△68,295
法人税、住民税及び事業税	2,624	2,290
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,624	2,290
当期純損失(△)	△391,256	△70,585

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,093,401	1,037,040	1,037,040	870	10,000	△1,477,296	△1,466,426
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	196,804	196,804	196,804				
自己株式の取得							
当期純利益又は当期純損失(△)						△391,256	△391,256
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	196,804	196,804	196,804	—	—	△391,256	△391,256
当期末残高	1,290,206	1,233,844	1,233,844	870	10,000	△1,868,553	△1,857,683

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△46,876	617,138	2,260	619,398
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)		393,609		393,609
自己株式の取得	—	—		—
当期純利益又は当期純損失(△)		△391,256		△391,256
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,658	△1,658
当期変動額合計	—	2,352	△1,658	694
当期末残高	△46,876	619,491	602	620,093

当事業年度(自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,290,206	1,233,844	1,233,844	870	10,000	△1,868,553	△1,857,683
当期変動額							
新株の発行	254,777	254,777	254,777				
自己株式の取得							
当期純利益又は当期純損失(△)						△70,585	△70,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	254,777	254,777	254,777	—	—	△70,585	△70,585
当期末残高	1,544,983	1,488,622	1,488,622	870	10,000	△1,939,138	△1,928,268

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△46,876	619,491	602	620,093
当期変動額				
新株の発行		509,555		509,555
自己株式の取得	△58	△58		△58
当期純利益又は当期純損失(△)		△70,585		△70,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			1,860	1,860
当期変動額合計	△58	438,911	1,860	440,771
当期末残高	△46,934	1,058,402	2,462	1,060,864

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)	当事業年度 (自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△388,631	△68,295
減価償却費	76,697	22,033
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△186	△29
受取利息及び受取配当金	△2	△6
支払利息	3,895	3,340
新株発行費	—	14,974
新株予約権発行費	4,320	1,390
関係会社整理損	13,061	—
固定資産売却損益(△は益)	127	—
固定資産除却損	62	123
減損損失	146,367	—
事業譲渡損益(△は益)	—	△19,655
新株予約権戻入益	△163	△602
売上債権の増減額(△は増加)	14,362	6,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,210	1,464
未収入金の増減額(△は増加)	4,726	60,083
未払金の増減額(△は減少)	48,302	22,516
未払費用の増減額(△は減少)	△4,034	41,706
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,954	△6,842
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,872	4,726
その他の資産の増減額(△は増加)	5,009	4,769
その他の負債の増減額(△は減少)	△737	1,488
小計	△126,695	90,000
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△3,850	△3,368
法人税等の支払額	△2,997	△2,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,540	84,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,908	△14,969
無形固定資産の取得による支出	△187,097	△377,665
有形固定資産の売却による収入	472	—
敷金の差入による支出	△4,212	—
敷金の回収による収入	3,183	—
差入保証金の差入による支出	△10	—
差入保証金の回収による収入	21	—
関係会社の清算による収入	—	16,938
事業譲渡による収入	—	19,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,551	△356,040

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)	当事業年度 (自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△36,668	9,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,431	△2,545
新株予約権の行使による株式の発行による収入	389,084	—
新株予約権の発行による収入	4,500	2,462
新株予約権の消却による支出	△1,470	—
株式の発行による収入	—	509,555
新株予約権の発行による支出	△4,320	—
株式の発行による支出	—	△12,234
自己株式の取得による支出	—	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	348,693	506,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,601	234,153
現金及び現金同等物の期首残高	342,950	368,551
現金及び現金同等物の期末残高	368,551	602,704

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインタラクティブ事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)		当事業年度 (自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)	
1株当たり純資産額	226円46銭	1株当たり純資産額	345円47銭
1株当たり当期純損失	△152円65銭	1株当たり当期純損失	△25円32銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成28年6月1日 至 平成29年5月31日)	当事業年度 (自 平成29年6月1日 至 平成30年5月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
当期純損失(△)(千円)	△391,256	△70,585
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△391,256	△70,585
普通株式の期中平均株式数(株)	2,563,143	2,787,414
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)		
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権)(株)	(—)	(—)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。